

## 後期学校評価アンケートについて

12月に実施しました学校評価アンケートにつきまして、結果の概要がまとまりましたので、お知らせします。

結果の概要について

◇教育目標【思いやる子・考える子・きたえる子】等を踏まえ、評価項目ごとに数値で表しています。

◇評価「A」は4、「B」は3、「C」は2、「D」は1として算出し、各評価は平均値で表しています。

### 1 教育目標「思いやる子」に関する評価結果

	R1 後	R1 前	H30	H29
(1) お子さんは、友達と仲良くし、他人を思いやる心が育っている。				
児童	3.45	3.41	3.32	3.42
保護者	3.42	3.41	2.90	3.37
教職員	3.05	2.91	2.78	2.62
(2) お子さんは、気持ちのよいあいさつや言葉遣いができている。				
児童	3.24	3.28	3.14	3.21
保護者	3.09	3.12	2.73	3.11
教職員	2.82	2.95	2.65	2.48
(3) お子さんは、いろいろな仕事やお手伝いに進んで取り組んでいる。				
児童	3.38	3.38	3.27	3.21
保護者	3.16	3.11	2.76	3.04
教職員	3.18	3.17	3.09	2.57
(4) お子さんは、自分や友達のよさに気付き、互いに認め合う態度が育っている。				
児童	3.63	3.60	3.38	3.49
保護者	3.11	3.12	2.63	3.12
教職員	2.86	2.82	2.65	2.62

前期と比べても、引き続き「言葉づかい」については学校・家庭で手を携え、健全な言語環境を作っていく必要があります。

また、「自尊心・協調性」では子どもたちと教職員の間で評価の開きが見られます。

言葉遣いの乱れと自尊心・協調性、または右欄の粘り強さを関連するものと考え、大人の「寛容さ」の少なさに起因することも考えられます。子どもたちの成長を長い目で見守り、励まし、褒め、確かな力をつけさせていきたいと考えています。

### 2 教育目標「考える子」に関する評価結果

	R1 後	R1 前	H30	H29
(1) お子さんは、家庭で学習に意欲的に取り組んでいる。				
児童	3.50	3.46	3.31	3.29
保護者	2.97	2.79	2.62	2.84
教職員	3.05	2.86	2.91	3.10
(2) お子さんは、漢字や計算などの基礎・基本の力が付いている。				
児童	3.36	3.41	3.27	3.25
保護者	3.08	2.98	2.59	2.99
教職員	2.71	2.45	2.59	2.71
(3) お子さんは、進んで家庭学習に取り組んでいる。(10分×学年以上)				
児童	3.32	3.14	3.08	3.03
保護者	2.90	2.70	2.58	2.77
教職員	2.71	2.33	2.58	2.79
(4) お子さんは、筋道を立てて、自分の考えをはっきり伝えることができる。				
児童	3.01	3.05	2.88	2.99
保護者	2.81	2.70	2.43	2.71
教職員	2.45	2.32	2.27	2.24

前期と比べ、基礎力向上・家庭学習の項目で改善が見られます。論理的思考力を伸ばすためにも、子どもたちが自分で「考える」場を設ける学習活動を展開してきます。

### 3 教育目標「きたえる子」に関する評価結果

	R1 後	R1 前	H30	H29
(1) お子さんは、何事にも粘り強く取り組んでいる。				
児童	3.43	3.50	3.38	3.34
保護者	2.97	2.88	2.54	2.86
教職員	2.55	2.48	2.55	2.52
(2) お子さんは、健康に気を付けて生活している。				
児童	3.56	3.58	3.49	3.48
保護者	3.21	3.12	2.79	3.20
教職員	3.18	2.96	3.00	3.05
(3) お子さんは、安全に気を付けて生活している。				
児童	3.59	3.47	3.60	3.54
保護者	3.30	3.22	2.85	3.28
教職員	2.86	2.74	2.74	2.70

前期と比べ若干の改善が見られます。「粘り強さ」には課題が残ります。確実にできることをほめ、自信をつけさせ、「できそう」「がんばれそう」と意欲を持てる体験を通して、粘り強く取り組める場面を、家庭と学校で作らしましょう。

#### 4 その他の項目に関する評価

	R1 後	R1 前	H30	H29
(1) 学校は、学校便りや懇談会などを通して、教育の方針や内容をわかりやすく伝えている。				
児童	3.88	3.91	3.82	3.73
保護者	3.55	3.44	2.96	3.46
教職員	3.48	3.39	3.24	3.19
(2) 学校は、いじめの未然防止に向け、適切な指導をしている。				
児童	3.58	3.52	3.53	3.54
保護者	3.38	3.32	2.86	3.32
教職員	3.35	3.48	3.27	3.19
(3) 学校は、「学習規律」をしっかり指導している。				
児童	3.47	3.43	3.37	3.29
保護者	3.52	3.45	2.93	3.45
教職員	3.26	3.30	3.24	3.10
(4) 学校は「生活のきまり」をしっかり指導している。				
児童	3.53	3.53	3.43	3.35
保護者	3.51	3.50	2.94	3.47
教職員	3.30	3.43	3.41	3.05

前期に比べると、厳しい結果となりました。前述の長期的視点に立った指導とともに、学習集団としてのきまりの順守を徹底した指導に当たります。また、いじめ防止については前期に引き続き一定の評価をいただいておりますが、まだ十分ではないと考えます。今後とも、「いじめのない学校」を目指し、取り組んでまいります。

#### 5 自由記述欄について

アンケートへの記入とともに、御意見・御要望をいただきましたので、見解を述べさせていただきます。

##### いじめ・いやがらせ・悪ふざけ

先日クラスメイトに転倒させられ、けがをしましたが、担任の先生が早急に調査し、結果を報告していただきました。ありがとうございます。

いじめる子、不良な子がいない学校で安心できます。

回答 児童に関することについて、今後も保護者と連携しながら対応していきたいと思っております。これからも、ご協力よろしくお願いたします。

##### 言葉づかい

子どもたちの行動や言葉遣いに対して、早急に指導してくれていると思います。子どもも今まで色々、嫌なことがあっても担任になかなか言えずにいましたが、今の担任ならとたよりにして、少しずつ意見を、今後も言ってみようと思っているようです。親としてとてもありがたいことです。

回答 今後も、子どもたちが担任を信頼し、相談できるような関係づくりをしていきたいと思っております。

体育の授業中、皆で練習している時に、できない子にむかって死ねとかセンスないとか暴言を言う女子がいます。先生が見ていないと平気で悪口を言うてくるのは思いやりがないと思う。

回答 子どもたちには、生活科や道徳の授業はもちろん、学校生活すべてにおいて、言葉遣いや相手を思いやる気持ちなどについて指導していきたいと思っております。

##### インクルーシブ教育

特別支援学級の子に偏見を持たずに接しているのを見て、同じクラスに在籍して接しているおかげだと思います。行事の際に、クラスの他の子を見ても、みんな普通に接しているのは、学校での教育のおかげです。大切なことを教えてください、ありがとうございます。

回答 今後も、杉の子学級の子どもたちが、交流学級の子どもたちとできるだけ同じ場で共に学ぶ「インクルーシブ教育」を進めていきたいと思っております。

##### 土曜授業

土曜授業の急な変更のため、遠征のキャンセル料が発生しました。前もって予定がある場合もあると思います。中止や翌月などの変更も検討してほしいです。

土曜授業を急に変更するのを今後やめてほしいです。

回答 急な変更に伴い、ご迷惑をおかけしました。申し訳ありませんでした。やむを得ず変更するにあたっては、早急に連絡することに加え、状況に合わせて中止も検討いたします。

#### 家庭との連携

学校内で問題が起きた場合（自分の子に関すること）子どもから聞いて家庭から先生にまた話を聞くより、何かあった場合は内容がすごい、そうでもないの判断を先生方が判断しないで、学校から連絡してほしいです。先月のように「しね」と書かれてた子どもから聞かないとわからなかったことがありました。先生が把握しているのであれば、なお連絡がほしかったです。

今までになかった取り組みなど新たにさせていただいていることに感謝です。学校でのトラブルなど、家庭では見えない部分もあると思いますが、その場その場でご指導いただけたらありがたいです。逆に家庭での関わり、指導が必要だと感じるものがあつた時は遠慮なくお伝えいただけたらと思います。

回答 子どもたちの成長のためには、保護者の方々との協力は不可欠なものとなりますので、これまで以上に密に連携していきたいと思っています。今後ともご協力のほどよろしくお願ひいたします。

#### 家庭学習

宿題は5分～程度で終わり、自学はやらないので、目標の家庭学習時間には、ほぼ毎日及びません。

回答 宿題をきちんと取り組むことはとても大切です。御家庭でもほめてあげてください。自学については、家庭での学習習慣と密接に関わります。放課後の過ごし方に合わせて、「家庭学習の手引き」をもとに宿題で出なかった教科や読書に取り組ませるなど、御家庭での学習習慣の定着を進めていただきたいと思います。

#### 学習支援

自分の気持ちや考えを伝えることが苦手である。まだ、頭の中で整理したりするのが小さい時から苦手なので、そこを気にかけていただけたらうれしいです。

回答 子どもの得意なこと、苦手なことなどを考え、子どもたちが自信をもって学習に取り組めるようにこれからも指導・支援していきたいと思っています。

#### 規律・きまり

12はA、14、15はDをつけました。学校の方針は伝わっていますが、「しっかり指導」は個人差があると感じています。教育方針は、職員が伝わっていないのかなと感じます。

回答 教育方針や学習規律、生活のきまりについて、全職員が理解し、しっかりと指導できるように、これからも努めていきたいと思ひます。

#### 目指す子ども像

学校として目指したい育成像の説明よりも、育成するための手立てや取り組みが見えると良いなと思ひます。どうやって？がいつも疑問です。次年度からアクティブラーニングが本格実施ですよ。地域の学校も対応の個別化が求められる時代なんだと思ひます。子どもの変容・結果ありきですよ。頑張ってください。

回答 一本校の取り組みとして、算数などの習熟別指導や個別学習、放課後に行うサポート学習、土日を活用した読書週間や家庭学習の強調週間など、学力向上に向けた取り組みを実践しています。次年度以降も、児童の実態に応じた実践活動を充実していきますので、ご家庭でも協力していただければ嬉しいですよ。

#### 日課

日課表では給食時間は40分になっているが、実際は10～15分。これは短すぎます。

回答 準備・片付けの時間を含んでの40分ですので、準備・片付けを効率的に行い、食べる時間を確保できるようにします。

たくさんの御意見、ありがとうございました。今回行ったようなアンケートだけではなく、参観日や学級懇談、各行事で学校にお越しの際に、担任はもとより、主幹教諭や養護教諭、管理職にも声をかけていただけたらありがたいです。皆様からのご意見を参考に、よりよい学校づくりに励んでまいります。今後ともご協力をお願い申し上げます。次回は12月を予定しています。